

令和4年8月24日

報道機関 各位

先進軽金属材料国際研究機構に三協立山株式会社との 共同研究講座（アルミリサイクルと押出加工の革新研究）を設置

■ ポイント

- ・富山大学と三協立山株式会社はアルミリサイクルと押出加工の革新研究共同研究講座を設置
- ・以下の研究課題に取り組む
 - 1) アルミスクラップの不純物制御に関する研究
 - 2) 超高強度アルミ合金の押出加工・熱処理プロセスに関する研究
- ・共同研究講座教員1名を置き、当該教員にはクロスアポイントメント制度を適用
- ・上記の研究課題に産学連携体制で取り組むことはリサイクルアルミニウム製品の創出や自動車等の軽量化に直接的に寄与し、我が国の資源戦略・経済安全保障に貢献
- ・また、未来のアルミ産業の担い手となる若手人材の育成に大きく貢献

■ 概要

三協立山株式会社の中長期的な成長戦略を見据えたサステナブルな事業活動において、資源の有効活用と気候変動への対応が不可欠であるといった考えから、富山大学が有するアルミ基礎的研究資源と三協立山株式会社が有する製造技術資源を融合し、単独では困難な研究課題に果敢にチャレンジすることで、新たなシナジーを生み出し、カーボンニュートラルへの礎を築くとともに、社会変化に資する研究成果の実現を目的として共同研究講座を設置しました。

【用語解説】

- ・共同研究講座：（国立大学法人富山大学共同研究講座規則から抜粋）

共通の課題に関し本学と共同で研究を実施する民間等外部の機関から本学に受け入れる経費を活用して設置及び運営し、もって本学の研究の進展及び充実に資することを目的とする
- ・クロスアポイントメント制度：（国立大学法人富山大学職員のクロスアポイントメント制度に関する規則から抜粋）

次のいずれかに該当するものをいう。

 - 1) 教員が、本学の職員の身分を保有したまま他機関の職員として雇用され本学及び当該他機関の業務を行うこと（ただし、兼業によるものを除く。）。
 - 2) 他機関の職員の身分を保有する者が、当該他機関の身分を保有したまま本学の職員として雇用され、当該他機関及び本学の業務を行うこと。

【本発表資料のお問い合わせ先】

先進軽金属材料国際研究機構 富山大学先進アルミニウム国際研究センター
センター長

富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 柴柳 敏哉

TEL : 076-445-6831 (直通) Email : toshiya@sus.u-toyama.ac.jp